

国文学研究資料館蔵「古筆手鑑」(99-136) 影印・解題

海野圭介

*キーワード

古筆切・手鑑・伝称筆者・古筆鑑定

標記の古筆手鑑(99-136)は、平成二十年(二〇〇八)度に収蔵された資料で、小品ながらも興味深い古筆断簡を含んでいる。所収される古筆切のうち重要と見なされた九葉については、既に久保木秀夫による紹介があり、手鑑全体の¹⁾画像も当館ウェブサイトに公開されているが(二〇一六年時点²⁾)、その詳細を示した細目などは附されてはおらず、利用の便がよいとは言えない状態にあった。本稿では古筆切個々の画像データを利用する際の補助情報として同手鑑に押された古筆切の書写内容を一覧した。資料情報の提示を主としたため、伝称筆者の伝記やツレについての情報等は省略した。それらについては当館の「古筆切所収情報データベース」を併せて利用願いたい。

【書誌】

古筆手鑑(99-136)

〔奈良時代〕→〔江戸時代〕写 一帖

折帖装。亀甲繫に花文を織り出す錦表紙(三一・一×二二・五厘)、中央題簽「手鑑」。全十八折(表面に四十二葉、裏面に三十八葉、計八十葉

の古筆切を所収)。見返しは銀切箔散らし、左肩に「手鑑外題之二字／鳥丸光廣卿正筆」の正筆書を貼り付ける。帖の仕立ては個別の台紙を和紙の蝶番で継ぐものではなく、一枚の紙を折り曲げて継ぐもので台紙表面に雲母を引く。一部に張り替えの跡が残るが、本帖の仕立ての際の張り替えてあるのか、本帖自体が古筆切を剥がした他の空帖の転用であるのかは未詳(おそらくは前者か)。水害を被ったと思われる全体にわたって台紙に擦れが生じている。

【概要】

本帖に押された古筆切は、伝親鸞筆〔仏名経〕切(表39)の一葉を除く七十九葉は全て古筆別家三代・古筆了仲(一六五六―一七三六)による極札を附属しており、了仲のもとで調整されたと推測される。

所収される古筆切は大凡次のような配列がなされている。

- ①表1大職冠鎌足→表3吉備大臣(3葉) ↓経切
- ②表4源俊頼朝臣→表14橋本公夏(11葉) ↓公卿

③表15 小野道風〜表22 世尊寺殿行房卿 (8葉) ↓能書

④表23 光明皇后〜表29 淀殿 (7葉) ↓女筆

⑤表30 傳教大師〜表42 慈鎮和尚 (11葉) ↓釈家 (表31 久我殿通親公、表41 張即之を除く)

⑥裏1 青蓮院尊道法親王
↓門跡 (法親王・入道親王)

↓裏9 常修院二品慈胤親王 (9葉)

⑦裏10 一山和尚 (1葉) ↓釈家 (渡來僧)

⑧裏11 俊寛僧都〜裏19 慶運法印 (9葉) ↓釈家・和歌四天王

⑨裏20 招月庵正徹〜裏24 牡丹花 (5葉) ↓室町期の僧侶歌人・連歌師

⑩裏25 春日社人祐茂
↓裏29 串崎大宮司武光 (5葉) ↓社家

⑪裏30 山崎住人宗鑑 (1葉) ↓俳諧師

⑫裏31 源三位頼政卿〜裏38 今川了俊 (8葉) ↓武家

これらの古筆切には一応の連続性が認められ、手鑑行列を構成する配列の痕跡を留めているように見える。七十九葉の古筆切が同一鑑定家の極札を附すことから、それぞれの古筆切が本手鑑調整のために個別に収集され配置されたとは思われないが、同時に配列が想定される次のような多くの主要な伝称筆者の筆跡を欠いている。

(1) 聖武天皇以降の勅筆

(2) 諸親王家

(3) 鎌足 (表1) 以外の摂家 (現状では鎌足は摂家に配列されているのではなく経切の冒頭に配置されている)

(4) 久我通親 (表31) 以外の清華家

(5) 大臣家・羽林家・名家の多く (とくに飛鳥井家、中院家などの通常、手鑑に多く配列されている人物は皆無)

(6) 歌道家 (二条家、冷泉家歴代)

本手鑑は、(1)〜(6)のような古筆切をも併せ持った大型の手鑑を解体し、名物切に相当するものを多く含む(1)〜(6)に含まれる古写断簡を抜き取ったあとの古筆切を再構成したもののように見える。この推測通りならば、現存ほぼ全ての断簡に古筆別家二代・古筆了仲の極札が附された本手鑑は、現存する古筆手鑑の調整時期としても比較的是やい時期にあたり、一部とはいえ江戸時代前期頃の痕跡を伝えていることとなる。

【書写内容】

後継表は、本手鑑の所収内容を示したものである。本手鑑は、歌切・連歌切四十葉、経切十六葉、仮名散文断簡十二葉、その他 (漢文・文書) 断簡三葉、色紙九葉を収めている。書写内容の詳細については後掲表を参照願いたい。また、表中の「伝称筆者」は極札により通行の呼称を示した。「出典」及び「部位」「書写内容…冒頭」「書写内容…末尾」については左記の番号等で示した。

和歌 『新編国歌大観』番号 (但し万葉集は国歌大観番号)。

經典類 大正新脩大藏經に基づくS²「大正新脩大藏經テキストデータベース」

ス (<http://21dzk.l.u-tokyo.ac.jp/SAT/>) により提供される番号(それぞれの記号は、「↓經典番号」以下↓大正新脩大藏經の巻数+ページ数、段の別(a↓上段、b↓中斷、c↓下段)+当該段冒頭からの行数。例えばT0279_10_0208c29は「經典番号279(『大方広仏華嚴經』、

大正新脩大藏經第10巻所収、二〇八ページ下段二九行目となる)。

物語類 伊勢物語・大和物語・源氏物語・狭衣物語↓新編日本古典文学全集の巻数と頁数。

「材質」「法量」「字面高さ」「書写年代」については観察されたものを示した(「書写年代」については通常考えられている例を参照した)。「備考」には参考となる情報を示した。

注

(1) 久保木秀夫「国文学研究資料館蔵古筆手鑑2点の紹介 その2」(国文研ニュース 20二〇・八)。以下の九葉の断簡が書影入りで紹介されている。

- ① 伝源俊頼筆民部切(表4)、
- ② 伝藤原行成筆未詳漢文断簡(表16)
- ③ 伝民部卿局筆源氏物語断簡(表25)
- ④ 伝阿仏尼筆狭衣物語断簡(表26)
- ⑤ 伝慈円筆大和物語断簡(表42)
- ⑥ 伝寂蓮筆大鏡断簡(裏12)
- ⑦ 伝西行筆林葉和歌集断簡(裏13)
- ⑧ 伝足利義尚筆後拾遺和歌集断簡(裏33)

⑨ 今川了俊筆伊予切(源氏物語断簡)(裏38)

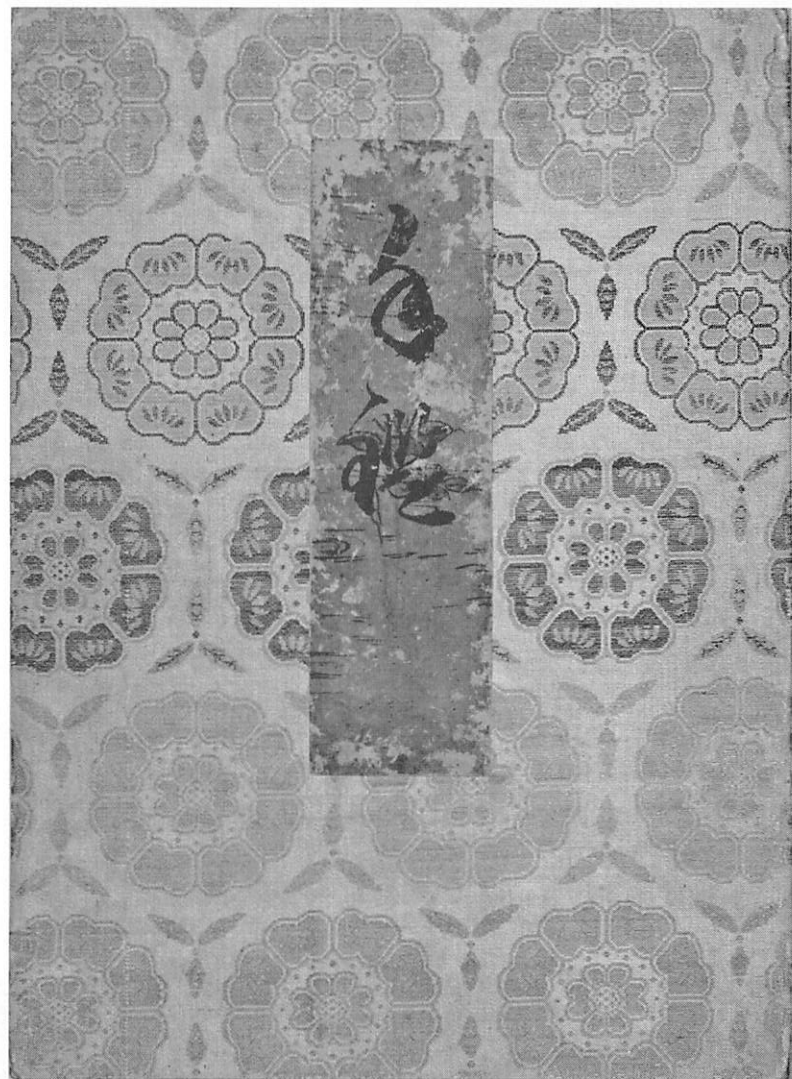
(2) 「館蔵和古書目録データベース」(<http://basel.nijl.ac.jp/wakosyo>)。

書写内容:末尾	材質	法量縦 (cm)	法量横 (cm)	字面高さ (cm)	書写年代	備考
T0279_10.020 9a06	紙本墨書	28.2	14.4	界高26.3	〔高麗時代〕?	天地に子持ちの金界あり。罫線は引かれな い。
T0262_09.003 0c19	彩箋墨書	25.0	3.5	界高23.6 界幅1.8	〔平安後期〕	料紙は具引き。雲母で宝塔を刷り中に経文 を一文字ずつ書写する。上部の1文字を裁 断、1行につき7文字のみ存。
T1808_40.050 6a03~ T1808_40.050 6a06	紙本墨書	25.2	3.7 5.3	界高21.8 界幅1.8	〔平安時代〕	前半3行・後半2行の呼び継ぎ。
611番歌	彩箋墨書	25.2	17.1	23.4	〔平安後期〕	料紙は具引。定家本の609番歌を欠く。
	紙本墨書	24.3	16.5	22.0	〔江戸前期〕	
526番詞書	紙本墨書	26.4	17.9	25.0	〔室町中期〕	3首目に墨合点あり。
556番詞書	紙本墨書	24.1	15.4	22.8	〔鎌倉前期〕	
945番作者名	紙本墨書	25.5	11.5	22.0	〔室町後期〕	各歌右肩に出典注記あり。
142番詞書	紙本墨書	23.6	14.3	19.5	〔鎌倉中期〕	一面8行書。通常「佐伯切」とするものとは異 なる。
—	彩箋墨書	21.5	18.3	—	〔江戸前期〕	料紙に金銀砂子散し。
2269番判詞	紙本墨書	25.0	17.8	20.0	〔室町後期〕	
	紙本墨書	21.5	13.8	20.0	〔室町後期〕	
	紙本墨書	16.2	15.5	14.0	〔江戸前期〕	
714番	紙本墨書	21.3	11.9	16.5	〔室町中期〕	
T1510_25.076 2b17	紺紙金銀字	25.7	9.0	界高19.5 界幅1.7	〔平安後期〕	T1510_25.0773b16~T1510_25.0773b20も 同文。中尊寺経。
	紙本墨書	26.8	5.9	24.5	〔平安後期〕	
109番作者名	紙本墨書	15.6	14.8	15.0	〔鎌倉中期〕	1行目に朱合点あり。
843番歌	紙本墨書	23.5	15.8	20.0	〔鎌倉中期〕	
104番詩	紙本墨書	29.2	10.6	24.2	〔鎌倉後期〕	作者名注記を欠く。
42番作者名	紙本墨書	22.7	17.8	20.0	〔南北朝時代〕	
1385番歌	紙本墨書	17.2	16.2	15.3	〔鎌倉後期〕	
313番歌	紙本墨書	16.1	14.8	14.0	〔鎌倉期〕	2・3首目右肩に朱で「少」。3行目に「めイ」の 朱書入。
T0262_09.001 1c18	彩箋墨書	23.3	18.5	界高19.4 界幅1.8	〔平安後期〕	金泥で界線・罫線を引く。金揉箔散し。
1597番歌	紙本墨書	28.1	13.3	27.5	〔室町前期〕	
(1巻-p.144)	紙本墨書	24.2	15.8	22.5	〔鎌倉中期〕	古筆学大成23「伝坊門局筆源氏物語切 (二)」のツレ。
(P.321)	彩箋墨書	15.4	14.0	14.2	〔鎌倉末〕	
972番詞書	紙本墨書	25.0	15.8	23.0	〔鎌倉中期〕	巻17雑3巻首部分
(P.175)	紙本墨書	22.9	16.3	21.2	〔室町後期〕	
—	紙本墨書	17.0	13.8	—	〔室町後期〕	雲紙。金下絵。
T0220_07.013 6b17	紙本墨書	22.1	9.9	21.5	〔平安前期〕	天地に焼損跡あり。
1253番詞書	紙本墨書	18.3	15.8	17.2	〔鎌倉前期〕	
T0374_12.046 0a18	紙本墨書	26.7	12.3	界高21.2 界幅2.3	〔奈良時代〕	毎行13字~14字。
T0262_09.000 4c14	紺紙金字	28.6	3.3	界高18.8 界幅1.8	〔高麗時代〕?	天地界線は子持ち。
T0220_07.074 6c04	紙本墨書	25.5	10.3	界高19.9 界幅2.1	〔平安時代〕	
T0293_10.072 7c05	紙本墨書	23.2	5.6	界高19.5 界幅1.7	〔鎌倉時代〕	銀泥で界線・罫線を引く。
	紙本墨書	25.2	13.6	22.5	〔鎌倉前期〕	
T0277_09.039 1b15	紙本墨書	26.6	5.3	界高19.3 界幅1.6	〔鎌倉時代〕	界線・罫線は金泥。天地部分に銀切箔散 し。紙背銀切箔散し(表面に銀の焼跡あ り)。
	紙本墨書	28.2	6.5	界高22.3 界幅2.1	〔南北朝時代〕	

通番	位置	番号	切名	伝称筆者	出典	巻	部立	書写内容:冒頭
1	表	1		藤原鎌足	大方広仏華嚴經	39	十地品第二十六之六	T0279_10.020 8c29
2	表	2	戸隠切	聖徳太子	妙法蓮華經	4	法師品第十	T0262_09.003 0c18
3	表	3		吉備真備	四分律刪補隨機羯磨	上/ 下	集法緣成篇第一 ／衣藥受淨篇第四	T1808_40.049 4c02～ T1808_40.049 4c04
4	表	4	民部切	源俊賴	古今和歌集	12	恋二	608番歌
5	表	5		日野輝資	長恨歌抄			
6	表	6		烏丸光康	新古今和歌集	5	秋下	522番歌
7	表	7	坊門切	堀川通具	千載和歌集	9	哀傷	554番歌
8	表	8		柳原淳光	定家八代抄	12	恋二	941番歌
9	表	9		藤原秀能	古今和歌集	3	夏	139番作者
10	表	10		北畠親顕	(色紙:新勅撰和歌集)	(13)	(恋三)	(844番歌)
11	表	11		甘露寺経元	千五百番歌合	—	恋一	2267番判詞
12	表	12		山科言継	源氏小鏡	帯木		
13	表	13		富小路頼直	(書状)			
14	表	14		橋本公夏	老葉		恋五	710番
15	表	15		小野道風	金剛般若論	—		T1510_25.076 2b13
16	表	16		藤原行成	(未詳漢文)			
17	表	17		世尊寺行能	古今和歌集	2	春下	107番歌
18	表	18		世尊寺経朝	後拾遺和歌集	15	雑一	841番歌
19	表	19		世尊寺行尹	和漢朗詠集	上	春／柳	102番題
20	表	20		世尊寺行俊	千載和歌集	1	春上	40番詞書
21	表	21		世尊寺定成	新古今和歌集	15	恋五	1383番作者名
22	表	22	下野切	世尊寺行房	拾遺和歌集	6	別	311番詞書
23	表	23		光明皇后	妙法蓮華經	2	譬喻品第三	T0262_09.001 1c06
24	表	24		後土御門院内侍	新古今和歌集	17	雑中	1595番作者名
25	表	25		民部卿局	源氏物語	夕顔		(1巻-p.144)
26	表	26		阿佛尼	狭衣物語			(P.320)
27	表	27	肥後切	坊門局	後拾遺和歌集	17	雑三	971番歌
28	表	28		慶福院玉榮	伊勢物語	71,72		(P.175)
29	表	29		淀殿	(色紙:後拾遺和歌集)	(3)	(夏)	(229番歌)
30	表	30	焼切	伝教大師	大般若波羅蜜多經	425	第二分帝釋品第二十五之一	T0220_07.013 6b12
31	表	31	龍山切	久我通親	千載和歌集	9	釈教	1251番詞書
32	表	32		慈覚大師	大般涅槃經	16	梵行品第八之二	T0374_12.046 0a14
33	表	33	横川切	慈恵大師	妙法蓮華經	1	序品第一	T0262_09.000 4c12
34	表	34		性空上人	大般若波羅蜜多經	535	第三分施等品第二十九之四	T0220_07.074 6b29
35	表	35		明恵上人	大方広仏華嚴經	15	入不思議解脱境界普賢行願品	T0293_10.072 7c02
36	表	36		解脱上人	[未詳仏書]			
37	表	37	高山切	文覚上人	仏説觀普賢菩薩行法經			T0277_09.039 1b12
38	表	38		玄恵法印	[未詳仏書]			

T0446_14.036 9c27	紙本墨書	11.2	6.7	界高10.0 界幅2.3	〔鎌倉時代〕	二段に仏名を書写した料紙を天地中央で 半裁したものか。
T0220_05.022 6b01～ T0220_05.022 6b04	紙本墨書	27.4	7.0 7.0	界高23.5 界幅2.3 界高23.3 界幅2.3	〔奈良時代〕	
T0663_16.034 0a17	紺紙銀字	28.6	14.0	界高21.6 界幅1.8	〔高麗時代〕？	
(P.275)	紙本墨書	13.6	13.7	13.0	〔鎌倉中期〕	古筆学大成23「伝慈円筆大和物語切」のツレ。
3番歌	紙本墨書	26.0	17.0	23.5	〔室町前期〕	青色打疊料紙を縦に用いる。
—	彩箋墨書	20.1	17.0	—	〔室町中期〕	
—	彩箋墨書	21.0	18.3	—	〔桃山時代〕	
—	彩箋墨書	21.3	18.0	—	〔江戸前期〕	
784番詞書	紙本墨書	23.6	15.3	21.5	〔室町中期〕	
—	彩箋墨書	20.2	16.6	—	〔室町後期〕	
—	彩箋墨書	18.4	16.4	16.5	〔室町後期〕	
—	彩箋墨書	13.6	11.3	—	〔桃山時代〕	拾遺抄異本歌583番歌も同歌。
—	彩箋墨書	16.4	14.9	—	〔江戸前期〕	万葉集巻第11・寄物陳思2813番歌も同歌。
—	紙本墨書	22.4	13.8	19.0	〔鎌倉時代〕	「龍岩」等の漢詩の注釈
926番作者名	紙本墨書	21.8	13.6	18.0	〔南北朝時代〕	古筆学大成5「俊寛(二)」のツレ。
(P.196)	紙本墨書	25.4	8.9	界高22.6 界幅2.6	建久3年(1192)頃	天理図書館蔵建久三年本、古筆学大成24 「伝寂蓮筆大鏡切」のツレ。
642番歌	紙本墨書	17.8	15.9	16.5	〔鎌倉初期〕	久保木秀夫『林葉和歌集 研究と校本』(笠 間書院 2007) 参照。
629番作者名	紙本墨書	22.8	15.7	20.0	〔鎌倉後期〕	
216番作者名	紙本墨書	25.2	15.0	23.0	〔南北朝時代〕	
1514番詞書	紙本墨書	17.0	15.9	15.0	〔南北朝時代〕	
804番作者名	紙本墨書	22.8	11.8	20.2	〔南北朝時代〕	
1002番作者名	紙本墨書	24.1	15.5	22.0	〔南北朝時代〕	
24番作者名	紙本墨書	23.3	15.1	21.0	〔南北朝時代〕	
807番作者名	紙本墨書	23.7	18.1	21.5	〔室町中期〕	
(P.128)	紙本墨書	25.8	17.4	22.2	〔室町中期〕	
80番歌注	紙本墨書	19.0	13.8	17.2	〔室町後期〕	
135番判詞	紙本墨書	26.9	14.9	23.5	〔江戸前期〕	六百番歌合から負を抜き出し判詞の一部を 附す(128番判詞、134番歌・判詞、135番 歌・判詞)。
178番歌	紙本墨書	17.8	13.5	16.0	〔室町後期〕	
159番歌	紙本墨書	22.2	14.1	18.5	〔鎌倉後期〕	
1382番歌	紙本墨書	17.3	16.2	15.2	〔鎌倉後期〕	
304番歌	紙本墨書	25.4	16.4	21.0	〔鎌倉後期〕	左端の空白部分に擦り消し跡あり。
(6巻-p.131)	紙本墨書	16.1	15.8	14.0	〔鎌倉後期〕	文字間に朱点あり。
未詳	紙本墨書	25.3	8.2	22.0	〔室町後期〕	3首目「題不知 小野小町」とあり。
134番詞書	紙本墨書	24.3	16.2	22.0	〔室町後期〕	
620番詞書	紙本墨書	16.1	16.0	14.7	〔鎌倉後期〕	
8番歌	紙本墨書	22.0	13.4	18.0	貞和6年(1350)頃	5行・2行の呼び継ぎ。北山切は関西大学図 書館が年紀を記す奥書部分を所蔵。
562番詞書	紙本墨書	25.6	10.9	22.0	〔室町後期〕	
—	紙本墨書	24.0	16.6	20.0	〔室町後期〕	
(1巻-p.212)	紙本墨書	24.9	8.2	21.8	〔室町後期〕	
865番作者名	紙本墨書	25.4	16.1	20.5	〔室町前期〕	
548番詞書	紙本墨書	26.1	17.6	22.0	〔室町中期〕	
(1巻-p.140)	紙本墨書	27.1	17.9	25.0	応永17年(1410)	朱・墨書き入れあり。新美哲彦『源氏物語の 受容と生成』(武蔵野書院 2008) 参照。

39	表	39		親鸞聖人	過去莊嚴劫千仏名經	—	—	T0446_14.036 9c25
40	表	40	御室切	魚養	増一阿含經／大般若波羅蜜多經	47／ 40	放牛品第四十九 今分品／初分般 若行相品第十之 三	T0125_02.080 4a01～ T0125_02.080 4a03
41	表	41		張即之	金光明經			T0663_16.034 0a07
42	表	42		慈円	大和物語	32		(P.275)
43	裏	1		青蓮院宮尊道親王	秀歌之躰大略	—	—	1番歌
44	裏	2		青蓮院宮尊鎮親王	(色紙:拾遺和歌集)	(2)	(夏)	(131番歌)
45	裏	3		青蓮院宮尊朝親王	(色紙:古今和歌集)	(4)	(秋上)	(191番歌)
46	裏	4		青蓮院宮尊純親王	(色紙:古今和歌集)	(11)	(恋一)	(545番歌)
47	裏	5		梶井宮彦胤親王	古今和歌集	15	恋五	780番作者名
48	裏	6		梶井宮応胤親王	(色紙:千載和歌集)	(6)	(冬)	(471番歌)
49	裏	7		照高院道澄	(色紙:和漢朗詠集)	(上)	(秋／蘭)	(289番詩)
50	裏	8		照高院道勝親王	(色紙:和漢朗詠集)	(上)	(冬／冬夜)	(358番歌)
51	裏	9		常修院宮慈胤親王	(色紙:百人一首)			(3番歌)
52	裏	10		一山一寧	[未詳漢詩文注釈]			
53	裏	11		俊寛	古今和歌集	17	雑上	924番作者名
54	裏	12		寂蓮	大鏡	3	太政大臣伊尹	(P.195)
55	裏	13		西行	林葉和歌集	4	冬	639番歌
56	裏	14		寂恵	後撰和歌集	10	恋二	627番歌
57	裏	15		覺家	続後拾遺和歌集	3	夏	212番歌
58	裏	16		兼好	定家八代抄	16	雑上	1511番作者名
59	裏	17		頼阿	続後拾遺和歌集	13	恋三	802番詞書
60	裏	18		浄弁	古今和歌集	18	雑下	1001番歌
61	裏	19		慶運	古今和歌集	1	春上	21番歌
62	裏	20		正徹	新古今和歌集	8	哀傷	804番歌
63	裏	21		正廣	伊勢物語	16		(P.128)
64	裏	22		宗祇	定家隆両卿撰歌合(有 注本)			(79番歌注)
65	裏	23		松永貞徳	六百番歌合(抜粋本)	春		128番判詞
66	裏	24		肖柏	新古今和歌集	3	夏	177番詞書
67	裏	25		中臣祐茂	新古今和歌集	13	恋三	1156番歌
68	裏	26		津守国冬	新古今和歌集	15	恋五	1379番歌
69	裏	27		津守壽暁	古今和歌集	5	秋下	303番作者名
70	裏	28		津守国夏	源氏物語	浮舟		(6巻-p.131)
71	裏	29		竹中武光	新古今和歌集	8	哀傷	802番詞書
72	裏	30		山崎宗鑑	金葉和歌集	2	夏	131番詞書
73	裏	31		源頼政	古今和歌集	13	恋三	619番歌
74	裏	32	北山切	足利尊氏	新古今和歌集	1	春上	18番作者名～ 19番詞書
75	裏	33		足利義尚	後拾遺和歌集	10	哀傷	560番歌
76	裏	34		足利義植	[未詳散文]			
77	裏	35		足利義輝	源氏物語	若紫		(1巻-p.212)
78	裏	36		蜷川親當	新古今和歌集	9	離別	862番作者名
79	裏	37		蜷川親元	金葉和歌集	9	雑上	545番歌
80	裏	38	伊予切	今川了俊	源氏物語	夕顔		(1巻-p.140)



国文学研究資料館蔵「古筆手鑑」(99-136)

烏龍外史
卷之二
三

大鐵冠錦笈公是一切



是一切世間釋空神通解脫三昧三摩鉢底
咸在其中說不可盡佛子如神仙山王純身
所成五通神仙咸任其中無有窮盡菩薩所
任慧地亦復如是一切道中殊勝智慧咸
在十說不可盡佛子如由乾陀羅山王純
身所成夜叉大神咸任其中無有窮盡菩薩



聖德太子 續卷

依體
林供
香
香
香
香



志備大臣 相巳盡

相已盡自然界內僧集在戒壇內先
合一比豆或塲外相應住如是言
大德僧聽我此住處
此丘為階稱四方小界相從此住處東南角其標
至西南角其標從此非迴至西北角其標從此東迴

制急不吝錢急自欺故庶
知具如量重鞋物儀中
俱夜軍器者鏡盆器四等
得成盆水盆小盆盆盆

八量德賞物人可食不可食應身二不惡賤病人大小便雲生三有



源俊賴朝臣

1840
 1841
 1842
 1843
 1844
 1845
 1846
 1847
 1848
 1849
 1850
 1851
 1852
 1853
 1854
 1855
 1856
 1857
 1858
 1859
 1860
 1861
 1862
 1863
 1864
 1865
 1866
 1867
 1868
 1869
 1870
 1871
 1872
 1873
 1874
 1875
 1876
 1877
 1878
 1879
 1880
 1881
 1882
 1883
 1884
 1885
 1886
 1887
 1888
 1889
 1890
 1891
 1892
 1893
 1894
 1895
 1896
 1897
 1898
 1899
 1900

1. The first part of the document is a list of names and titles, including "The Hon. Mr. Justice" and "The Hon. Mr. Chief Justice".
 2. The second part is a list of names and titles, including "The Hon. Mr. Justice" and "The Hon. Mr. Chief Justice".
 3. The third part is a list of names and titles, including "The Hon. Mr. Justice" and "The Hon. Mr. Chief Justice".
 4. The fourth part is a list of names and titles, including "The Hon. Mr. Justice" and "The Hon. Mr. Chief Justice".
 5. The fifth part is a list of names and titles, including "The Hon. Mr. Justice" and "The Hon. Mr. Chief Justice".
 6. The sixth part is a list of names and titles, including "The Hon. Mr. Justice" and "The Hon. Mr. Chief Justice".
 7. The seventh part is a list of names and titles, including "The Hon. Mr. Justice" and "The Hon. Mr. Chief Justice".
 8. The eighth part is a list of names and titles, including "The Hon. Mr. Justice" and "The Hon. Mr. Chief Justice".
 9. The ninth part is a list of names and titles, including "The Hon. Mr. Justice" and "The Hon. Mr. Chief Justice".
 10. The tenth part is a list of names and titles, including "The Hon. Mr. Justice" and "The Hon. Mr. Chief Justice".



扁鵲九疔床第の

9

[The page contains several lines of handwritten text in cursive script, which appears to be bleed-through from the reverse side of the document.]

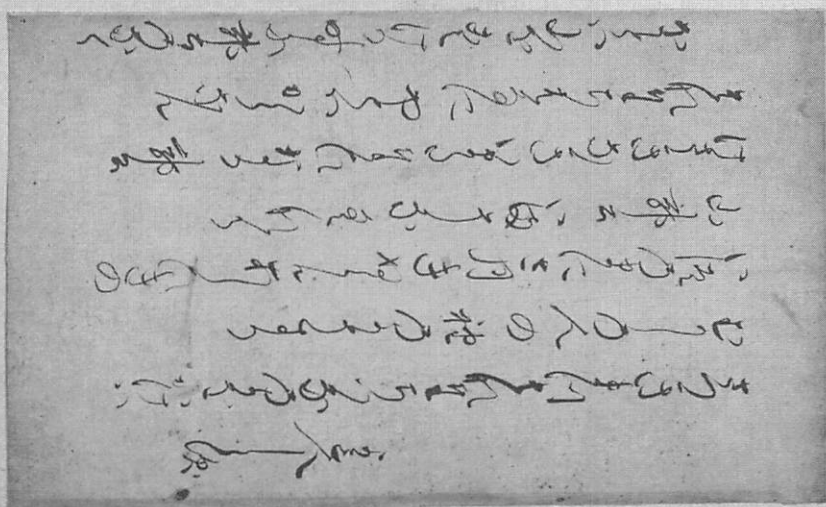


目録殿釋濟卿

57



北窓威親野



藤原秀林

The image shows a page of handwritten text in a cursive script, likely from a 17th-century manuscript. The text is written on aged, slightly discolored paper. The handwriting is dense and flowing, with many loops and flourishes. The text is arranged in several lines, with some lines being more prominent than others. The overall appearance is that of a historical document or a collection of letters.



六科殿嘉祥 北平

Handwritten notes on lined paper, likely bleed-through from the reverse side. The text is written in cursive and includes:

...the ...
...the ...
...the ...
...the ...
...the ...



味露寺威靈丸 左方新本

日下の一草一木
 皆我之文章
 不特文章而已
 且其文章之妙
 不可言喻
 此其所以為文章也

橋本製炭所



日下
 一草一木
 皆我之文章
 不可言喻

富山縣 北川村



柳
林間何處冷筆柱柳誰家曝麴麕
漸欲拂他騎馬客未多遮得上樓人
要女廟花紅似粉脂君村柳翠如眉

世尊寺殿行尹柳林題何處



河上人家上柳花
人入寺中柳花紅
寺中柳花紅似粉
山前柳花紅似粉
山前柳花紅似粉
山前柳花紅似粉
山前柳花紅似粉

世尊寺殿行尹柳林題何處



威明殿
 春夜女
 世尊寺藏定成制度
 威明殿
 春夜女
 世尊寺藏定成制度



世尊寺藏定成制度

春夜女
 世尊寺藏定成制度
 威明殿
 春夜女
 世尊寺藏定成制度



世尊寺藏定成制度

劫華光如來過十二小劫授堅滿菩薩阿耨
 多羅三藐三菩提告諸上主是堅滿菩薩
 次當作佛号曰華足步陀阿伽度阿羅
 訶三藐三佛隨其佛國土亦復如是舍利弗
 是華光佛滅度之後正法住世三十二小劫
 像法住世亦三十二小劫余時世尊欲重宣
 此義而說偈言
 舍利弗來世成佛普尊号曰華光當度無量眾
 供養無數佛具足普護行十力善功德證於無
 過無量劫已劫名大寶嚴世界名維拏青淨



光明皇后 劫華光如來

Handwritten text in cursive script, likely a copy of the text from the adjacent page.



世尊普救行所辨の心

此紙係在...
 乾隆...
 乾隆...
 乾隆...
 乾隆...
 乾隆...
 乾隆...
 乾隆...
 乾隆...



氏部 附

此紙係在...
 乾隆...
 乾隆...
 乾隆...
 乾隆...
 乾隆...
 乾隆...
 乾隆...



氏部 附

像橋遺和歌村卷第五
 雜二
 備中寺棟利殿の
 御書
 請書元帥
 したるに
 かしこ
 かしこ




坊門


四條局河井
 御書



四條局河井

久我親通現从


此感之不燃之
 寂滅靜
 中主然の
 阿排施僧の
 平一廉損
 此のねえの
 此のねえの
 天の清華
 此のねえの

傳教大師 緣前生


緣所生諸受不應住地界乃至不應住
 不應住元明乃至不應住老死不應住无
 滅乃至不應住老死滅不應住布施波羅
 蜜乃至不應住散若波羅蜜多不應住内
 乃至不應住无性自性空不應住四念住

32

感寃大師 法男 公



善男子有人掘地刈草斫樹斬截死
屍罵詈鞭撻以是業緣墮地獄不
迎業菩薩自佛言世尊如我解佛
所說義者應墮地獄何以故如佛
首為聲聞說法汝諸比丘於餘進

33

感寃大師 為供養



各供養其佛 又見諸如來 自然成佛道
身色如金山 端嚴甚微妙 如淨瑠璃中

34

收買人 及緣



及餘惡夢受諸重苦其苦甚毒對強福利切
苦身心震極舉念汝等莫執非實有事委相
惡恚作諸罪業由斯罪業下劣人身尚難可
得況生天趣或生人中值佛聞法深心信受
如說修行汝等當知人身難得佛出難遇生

35

明惠大師 義裁 寺



善財執事尋求言隱勝行言隱云何學善
隱行言隱云何後言隱道隨後學時當能化
度一切眾生常能現見一切諸佛常得聽聞

38

真惠法印 子酒塊

弓消魂泥淚雙樹之苔連合開遺跡半新腸
孤露之悲肝葉增也但溫經經云若人深心
供養如來若人深心供養舍利二人功德正等

親鸞聖人而尤廣光明佛

南无廣花明佛
南无魏魏見佛
南无自在王佛

39

魚養 介時提婆達

介時提婆達兜熾火洞欲即以手打比丘尼
然介時提婆達兜以害真人往至已房告諸
弟子汝等當知我今以興意向沙門瞿曇然
行識名色六處觸受愛取有生老死愁歎苦
憂惱寐靜不寐靜不行行乃至老死愁歎苦
憂惱寐靜不寐靜相是行散若波羅蜜多不

40

眼根受色 耳分別聲 鼻嗅諸香 舌啗於味
 六入村落 結賊所止 一切自住 各不相知
 如我所解 知衆生意 是身虛偽 猶如空聚
 為鈍根故 起大悲心 令我演說 此妙經典
 故此尊經 略而說之 異妙方便 種種因緣
 衆生根鈍 對於智慧 不能廣知 無量空義
 無量餘經 已廣說空 是故此中 略而解說
 金光明經空品第五



應鑰和尙之印



張印之無量餘經

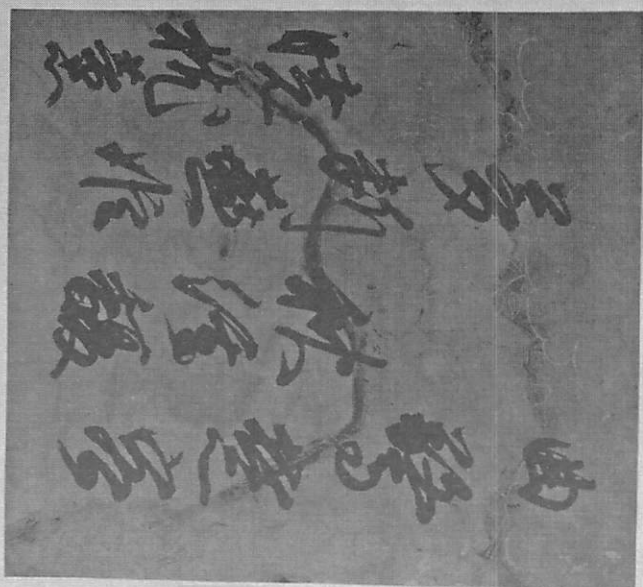
青蓮居士詩集卷之五



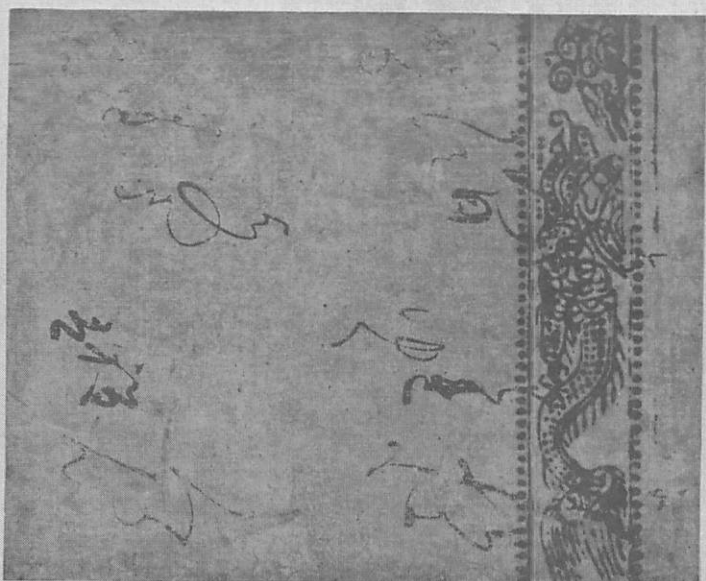
青蓮居士詩集

陳老時一讀信書卷之五今相受復稍加批

已此枝上春風暖
 中更見春風暖
 已此枝上春風暖
 已此枝上春風暖
 已此枝上春風暖



張氏阮翁濟復三所曲終花老春



瓶井殿前卷

仙方呼酌流長
賊元有御路同姓
至仁毒種毒華蘭
父子元芽一片傳
進揚魯聖主盡濃好
死如何養俗龍
葉傳浮山遇意云
勿謂家務自出門
嗟口相逢罪字逃故伊三傾轉叨，使它以西飯袋十

臨濟時建化垂示云：賊殺不得賊，却各正付眼藏。
時猶信以為安樂
時猶信以為安樂
時猶信以為安樂
時猶信以為安樂
時猶信以為安樂
時猶信以為安樂
時猶信以為安樂
時猶信以為安樂
時猶信以為安樂
時猶信以為安樂

一山和尚弘人



北山
山
山
山
山
山
山
山
山
山

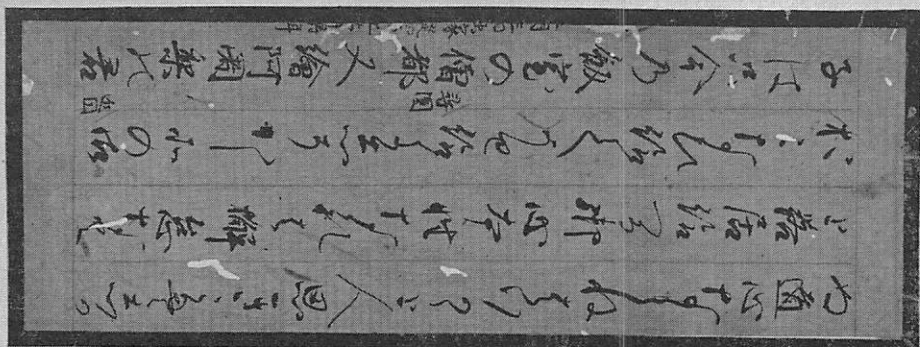
無高何道勝



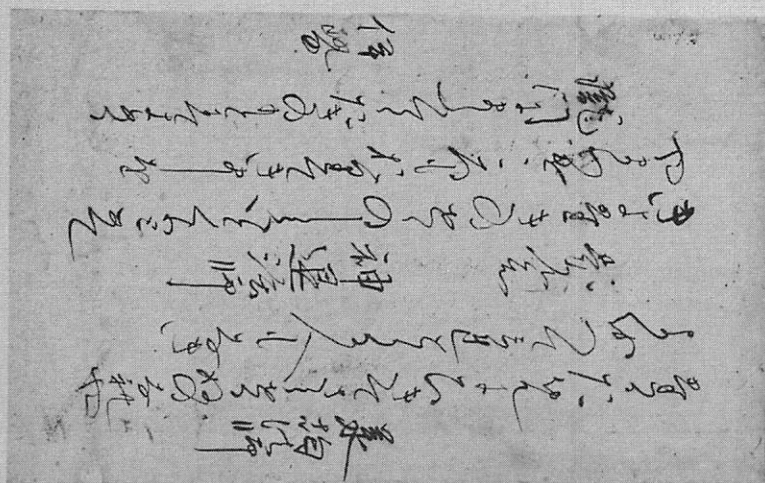
山
山
山
山
山
山
山
山
山
山

常修何而養親之





敏速決断 如通四ノ月



後筑前守 如通四ノ月

[illegible]

安懷寂憲法師

56

[The page contains several lines of handwritten text in cursive script, which appears to be bleed-through from the reverse side of the document.]



兩行法師

55

Handwritten text, likely a list or ledger, consisting of several lines of cursive script. The text is written on a piece of paper with a vertical crease down the center. The handwriting is somewhat faded and difficult to decipher, but appears to be a list of items or names, possibly related to a medical or scientific study, given the context of the document.



陳介祥

[illegible]

烟何法師

此後之世
 亦必如是
 其理之明
 不可不察
 其理之明
 不可不察
 其理之明
 不可不察



續五卷宗機

此後之世
 亦必如是
 其理之明
 不可不察
 其理之明
 不可不察
 其理之明
 不可不察



此月卷五續

[illegible]

春日放翁詩

Handwritten text in Chinese script, likely a signature or name, appearing twice.



津守園卷二

天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英



天津國英

天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英
 天津國英



天津國英

[Illegible handwritten text]

山崎佐宗鑑

津濟大宮司藏
四六

Handwritten text in Telugu script, consisting of approximately 10 lines of cursive script.



惠林統殿義祖公其方孫

76

[illegible]

帝德恢嚴義尚公

75

[illegible]

映川新橋の親鸞の像

1. *Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, possibly "John Smith".*
 2. *Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, possibly "John Smith".*
 3. *Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, possibly "John Smith".*
 4. *Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, possibly "John Smith".*
 5. *Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, possibly "John Smith".*

光緒統殿義輝从人

